

## 【石岡市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

一人一人が持続可能な地域社会の創り手となり、地域社会全体のウェルビーイングの向上の実現を目指す教育の充実に向け、令和6年3月に策定した石岡市教育大綱において「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」を本市教育行政の基本目標として掲げている。

また、学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月）等を踏まえ、ICTの活用により、基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し解決する力を育てていく必要がある。

具体的には、1人1台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、ダイバーシティ社会において個別最適化の学びにより一人ひとりの能力を十分に発揮できること、主体的・対話的で深い学びができることを目指していく。

#### 2. GIGA第1期の総括

本市では、これまで1人1台端末の整備と共に、校内の通信ネットワークの整備を進め普通教室の無線化は100%となっている。一方で、1人1台端末の故障台数の増加や大型掲示装置の配備率が低い、特別教室や屋内体育施設の無線化が進んでいないといった状況もあり、1人1台端末を最大限活用できる環境が整っているとは言い難い状況である。

また、ICT支援員の授業のサポートの下、授業での活用も徐々に進んできており、1人1台端末を用いて調べ、学習しながら児童生徒同士で意見交換を行い、問題解決に取り組むと共に協働的な学びが行われている。一方、教職員のICTを活用した指導する能力については向上が見られるものの、教職員の意識・スキルといった面で学校内又は学校間での格差があるのが実情である。

今後、より一層1人1台端末の利活用を進めていくには端末や通信ネットワーク、周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められている。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新や通信ネットワークの整備により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持・向上させていく共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

### 端末の積極的活用

- ・ICT支援員の積極的な活用や運用を図るとともに、教職員一人ひとりのICT活用指導力に合わせた校内研修の充実を図る。
- ・CBTの実施に向け授業支援ソフトを導入し、児童生徒一人ひとりの理解度や課題に対して適切にサポートできる体制を整える。
- ・授業支援アプリの導入や生成AIの対応について積極的に検討していく。
- ・児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面や教職員と児童生徒がやりとりする場면을促進するため、授業支援ソフトを導入し、積極的に活用していく。

### 個別最適な学びと、協働的な学びの実現

- ・端末による学習状況の可視化ツールを用い、学習の進捗度等、個々の状況に合わせた個別最適な学びを支援する。
- ・授業において協働的な学びを実現するため、他者参照による児童同士の学びあいなどの主体的な学習を促進するための授業支援ソフトを導入する。

### 学びの保障

- ・授業支援ソフトの活用などにより、不登校児童生徒が学校外においても学びの機会を得ることができる環境を整備する。
- ・外国人児童生徒や障害のある児童生徒、病気療養児等の特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末活用を検討する。
- ・経済的に困難を抱える世帯への支援として、USB Dongle（SIMカード無、契約・通信料は利用者負担）の貸与を行う。

#### 4. 1人1台端末の利活用目標

項目	R6 現状値 (小学校)	R6 現状値 (中学校)	R9 目標値 (小学校)	R9 目標値 (中学校)
教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができる教員の割合	60.5%	62.0%	100%	100%
知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませることができる教員の割合	46.9%	40.5%	100%	100%
学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導できている教員の割合	52.5%	54.4%	100%	100%
児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導できている教員の割合	54.2%	51.9%	100%	100%

教員のICT活用指導力等の実態調査結果から参照